

号外!

次は8月！実力派の、この三人！

第41回 「佐世保かっちえて落語会」 入船亭扇辰・桃月庵白酒・三遊亭兼好

もしもあなたが、落語に詳しくて噺家の良し悪しがわかる方ならば、「扇辰・白酒・兼好」の名前をただで、この先は読まなくても、スキップしながら受付に行って、イソイソと予約をなさるでしょう。ありがとうございます！もしもあなたが、落語通ではなかったけど『かっちえて』に通うようになって落語ライブの楽しさを知り、この会に来る噺家さんは知ってる知らないに関係なく、誰が来ても上手いし面白いし、ときには目頭が熱くなるほど感動できるとわかっている方なら、この先は読まなくても、ウキウキと予約なさるでしょう。ありがとうございます！

もしもあなたが、この会に来たのは今回が初めてで、いままで落語には興味なかったし、噺家さんなんてテレビに出てる人しか知らないし、この号外チラシの名前を見ても、「知らん」、「わからん」、「見たことなか」とつぶやくような方ならば、ここから先を読んでみてください。読めばきっと、「そうね、おい（うち）が知らんやっただけで、そがんすごか噺家さんたちの佐世保に来らすとね。そんならおい（うち）も予約してみゅうかね」と思いますから。

入船亭扇辰：若い頃から正攻法の古典の演者として期待され、軽い滑稽話から情感あふれる人情噺まで持ちネタは幅広く、その柔らかで落ち着いた雰囲気と端正な口調、繊細な表現力は非常に高く評価されている。トップクラスのひとりであるにも関わらず、常に謙虚であり、佐世保の落語っ子たちについても、「子供さん達の高座も刺激になりました。こちらの気持ちが悪くなりました」と言うような人なのです。国立演芸場花形演芸大賞金賞を受賞。2023年には、イエール大学（アメリカ）で高座を行う。

桃月庵白酒：“とうげつあんはくしゅ”と読みます。落語家の最高位である真打は、東京だけでも300人以上いますが、落語ファンの間で「いま誰が一番おもしろいか」という話題になったときに、必ず名前があがるひとりであり、真打300人の中でもトップクラスの実力派である。聞き取りやすい明朗ないい声の持ち主であり、その愛嬌のある風貌と正統派の語り口で、現代的センスあふれるギャグを織り交ぜながらの古典落語は絶品。

人情噺も笑いに変える独特の表現力は高く評価されていて、その存在感は増すばかりで、いまや落語界を支える大きな柱の一本となっている。国立演芸場花形演芸大賞、芸術選文部科学大臣新人賞など受賞多数。

三遊亭兼好：白酒師匠同様に、「いま誰がおもしろいか」といった話題のときに、必ず名前があがるひとり。その高座はとにかく明るくて華やかであり、観客の想像力を絶妙にくすぐる高い表現力で笑わせながらも、いつの間にか古典の世界へ引き込んでくれる。特に本人曰く「多くの人がなんとなくモヤモヤ感じていることを言語化している」マクラ（噺の導入部）の面白さは抜群であり、いつでもどこでも観客の圧倒的な共感を得ている。最初のマクラから最後のオチまで、サービス精神にあふれていて、落語通でも初心者でも虜にしてしまう噺家であり、国立演芸場花形演芸会金賞や彩の国落語大賞を受賞。

どうです？次回も！『佐世保かっちえて落語会』は、こういうトップクラスの師匠方が三人も来てくれるんですよ。さらに！前座はいつものように“地産地笑”の創作落語で、わが故郷の落語っ子たちが、一生懸命に努めます！と、ここまで読んだら、いままで落語なんかに興味なかったあなたも、予約したくなっただしょ？

てなところで、笑う門には福来たる。笑顔の人には幸来る。次回も、ご来場をべらぼうにお待ちしております！

（文責・海老原靖芳）

2026年8月30日(日)
開演午後4時
佐世保コミュニティーセンター5F
指定席（大人）：2,500円
小中高生指定席：無料(限定50名)

※チケット販売・問合せ先

佐世保かっちえて落語会・実行委員会 事務局

〒857-1174 佐世保市天神 3-2702-4 Soup-Up させぼ内

Tel:0956-32-0888 / Fax:0956-59-8151

営業時間：月～金 9時～17時